

助成事業実施報告書

団体名子ども食堂わかまつのWa_____

代表者・役職名 氏名 代表 佐藤一美_____

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

子ども食堂 わかまつのWa

2. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度

月に2回第2第4土曜日の11時~14時にテイクアウトにて、長く続いたコロナ禍や戦争などの影響により続く物価高騰で家計の大変な家庭に少しでも力になれるように活動をしました。感染症対策として室内での飲食はまだ延期としています。代わりに5月にこども縁日、7月に自治会の盆踊り大会にお店で協力、9月にクラシックライブ、12月にクリスマス会、2月にお餅つき大会などのイベントを開催しました。

3. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度

1年間で20回の開催、1回平均145人(こども90人、大人55人)長く続けていると直接的な支援家庭の存在が見えて来て年々増えていると感じます、また自治会との協力でのイベントでその地域での交流の場所として頼られる存在になっていると感じます。また私がこども食堂を始めた当時はこども食堂の数は約500弱だったのが現在は約9300か所となり社会的に認知されてきました。

4. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字程度

コロナ禍で始めたテイクアウトですが本来の子ども食堂の形である会食での居場所の提供に戻りたいのですが、今のテイクアウトで繋がった利用者さんがついて来てくれるかなどの心配はあります、ですので自治会との協力でイベントに力をいれていきたいと思っています。





